



テクノストラクチャー工法により実現した全寮生100人が集える16,550mm×7,640mmの吹き抜け大ホール。トップライトから差し込む光が吹き抜け大ホールの開放感を高めている

学校法人 尾道学園  
とう ゆう かん  
闘 獣 館

100人が集まれる大空間を中央に設計、交流を生み「第二の家」となる寮を作る地域の要望を受け1956年に設立された学校法人尾道学園はラグビーの強豪校としても名高く、全国から選手が集まる学校である。このたび分散して寮生活を送っていた部員100人全員と一緒に生活できる寮の建設が計画され、プロポーザル方式で「子どもたちの第二の家となる寮を作る」というコンセプトを掲げた三和鉄構建設株式会社が選ばれた。「三和鉄構建設も尾道を拠点とする企業。郷土への思いを同じくする尾道学園の件名は、ぜひとも受注したかった」と建設事業部営業の町田遼介氏。埼玉パナソニックワイルド

ナイツのホームグラウンド「さくらオーバルフォート」の視察を行い、案を練った。「テクノストラクチャー工法を採用し、木造では難しい開放感のある吹き抜け大ホールを実現。同時に予算内に費用を抑え、6か月半という短い工期に対応した」と述べる。住宅事業部 現場監督の西原明宏氏は「設備的には、耐震、耐火などの安全性はもちろん、換気にも配慮。怪我をした選手が利用する静養室は車いす対応可能な間口の広い引戸を採用するなど、細部まで気を配った」と語った。高校生活の思い出を育む場でもあるこの寮は、個々の居室の集合体を超え、選手たちの「第二の家」となることをめざしている。



**学校法人 尾道学園 闘獣館**  
所在地/広島県尾道市向島町  
事業主/学校法人 尾道学園 尾道高等学校  
設計/三和鉄構建設株式会社 建築設計事務所、H&A  
施工/三和鉄構建設株式会社  
竣工/2024年11月  
規模/延床面積:約1,366m<sup>2</sup>  
建築工法/テクノストラクチャー工法



テクノビームが接合されている上棟時の吹き抜け大ホール



吹き抜け大ホールの天井にシーリングファンを設置し、冷暖房効率化へも配慮



LED照明で明るいスタッフルームには、自動火災報知設備の受信機も配置



空調、換気に配慮された自習室



定期的に部屋替えを行い、交流の活性化を図る居室(4人部屋)



車いすでも通れる間口80cmの引戸を設置した静養室



階段はテクノビームの梁の金属部分に接合



部員間の交流に活用できるベンチ各階3ヶ所、通路奥に設置

主な納入設備

- LED照明器具 ● 内装建材 ● 換気・空調設備
- 屋根材 ● 外壁材 ● 自動火災報知設備
- 電気自動車充電設備 ● 水廻り設備

